

## 神経精神科・後期研修プログラム

### 1. 研修対象者

前期研修を修了した卒後3年目以降の医師。

### 2. 施設

施設は当大学附属病院（閉鎖病床40床等）のほか、公立精神科病院・公立病院精神科（計4施設、100床～300床）にて研修を行う。

### 3. 研修システムの目的

精神科の専門医師となるために必要な臨床研修を行う。

精神保健指定医、日本精神神経学会による精神科専門医の資格取得を目指す。当施設では措置入院を含め、指定医資格取得のための症例をすべて経験できる。

### 4. 研修システムの特徴

総合病院有床精神科として、外因性を含むあらゆる精神疾患の診断と治療、精神科救急、身体合併症治療、リエゾン・コンサルテーション精神医療などを経験することができる。

### 5. 指導体制の概要

#### （1）指導スタッフ

医師歴7年以上（うち精神科医歴5年以上）の医師から、各研修医に一名を研修指導医として定め、研修指導責、任者と連携を取りながら臨床現場での研修医の指導に直接あたる。

#### （2）プログラム

後期研修の目標（卒後2年目から7年一）は一般臨床の能力を取得すること、精神科医療のリーダーとなること、学術・研究活動を行うことである。一般臨床の能力を取得するために、

- 1) 疾患を理解でき、人として理解できること
- 2) 国内最先端レベルの医療を行えること
- 3) 精神保健指定医、精神科専門医を取得できること具体的な目標とする。

実際のプログラムは本教室のホームページに更新している。

<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/seishin/index.html>

#### （3）回診・症例検討会・勉強会

新入院検討会、教授回診、研修医勉強会等が定期的に行われ、不定期に各種勉強会、研究会が行われる。

#### （4）経験する病態・疾患

器質性症状性精神障害、急性精神病状態、統合失調症、うつ状態、不安・強迫等の神経症状などの病態・疾患を経験できる。

(5) 習得すべき技術・手技

精神科面接技法、リエゾン・コンサルテーション診療技術、アルゴリズムに準じた臨床精神薬物療法、各種画像・電気生理検査（CT、MRI、EEG）の判読、身体的治療（ECT, rTMS等）など。

※見学を希望される方は、当大学臨床研修センターを通じてご連絡ください。